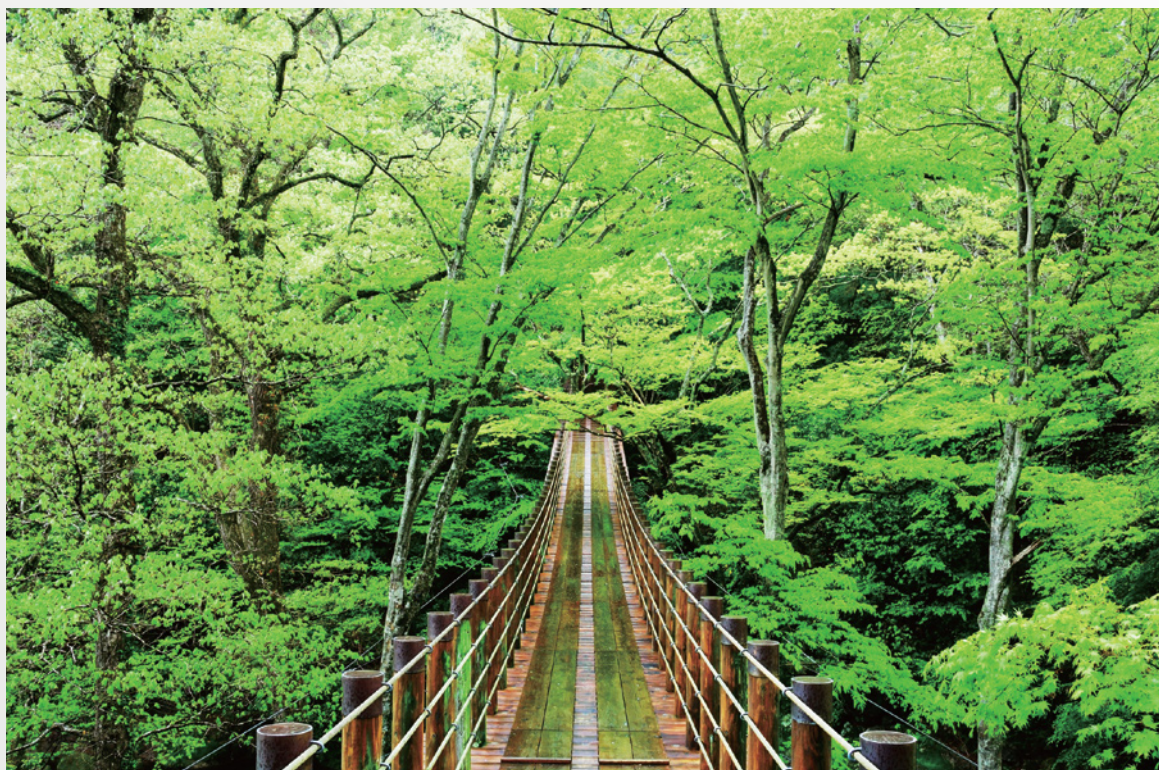


茨建協

ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2025.5 NO.670



茨城景観百選

花貫溪谷 (高萩市)

花貫溪谷では、季節とともに移り変わる自然の姿を楽しむことができる。長さ約60mの汐見滝吊り橋は、新緑の季節には、生い茂る新緑が覆い、橋の下には汐見滝から落ちる清流が涼しげに映る。

CONTENTS

- 理事会で令和6年度決算など承認
- 6月から改正労働安全衛生規則が施行
- 令和7年度新規入職者研修スタート
- 6支部が定時総会を開催

魅力高め、社会に貢献

理事会 令和6年度事業報告を承認

本会は5月9日、令和7年度第1回理事会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催し、令和6年度の事業報告・収支決算が承認されました。令和6年度も生産性の向上や働き方改革、地域貢献活動、若年入職者の確保・育成などに取り組みました。

あいさつで石津健光会長は、原材料や資機材価格の値上がりなど、地域建設業を取り巻く厳しい経営環境を指摘。

そして、自然災害に加え、道路陥没事故など社会インフラの維持更新の必要性が高まっていることを強調。県内でも、昨年末に八千代町で鳥インフルエンザ、本年3月に茨城町と城里町で豚熱が発生し、埋却などの作業に迅速に対応した関係者に感謝の意を表し、「今後も災害時等の対応に万全を期してまいりたい」と訴えました。

そして「地域建設業者は、地域インフラの維持管理のみならず、非常時には『地域の守り手』の役割を担っている。この社会的使命を継続して果たしていくためには、適正な利潤を確保し、将来にわたり経営基盤の強化を図ることが不可欠である。そのうえで、担い手の確保・育成、働き方改革の着実な推進、インフラ分野のDXへの対応などを進めていかねばならない」と強調

そのため、国や県との意見交換で、将来に向けた予算の確保、熱中症対策に伴う工期・経費等の補正の必要性を訴えたことを紹介し、協力を求めました。

議事では、令和6年度の事業報告・収支予算を承認。令和6年度は、経営基盤の強化および地域



石津会長



理事会では24年度事業報告などを承認しました

への貢献として、公共事業予算の安定的な確保拡大などの要望活動、担い手3法などへの対応、各種セミナーや講習会の開催、鳥インフルエンザ防疫活動、道路清掃活動や不法投棄防止パトロールなどの地域貢献活動を推進した。

人材の確保・育成では、建設現場見学会や建設業インターンシップの実施、建設業親子見学会や建設フェスタの開催、就職応援サイト・企業ガイドブック等による情報発信、建設業合同企業説明会の開催、図画コンクール・フォトコンテストの開催、高校生の資格取得支援、新規入職者等に対する研修などを推進した。

働き方改革では週休2日を休工とする取り組み、女性活躍の推進、建設キャリアアップシステム(CCUS)への対応を進めた。

新規入会者として(株)日田建設工業(守谷市、笹米地直樹代表取締役、竜ヶ崎支部)、常陽建設(株)(取手市、飯田竹世代表取締役、竜ヶ崎支部)を承認しました。

6月から改正労働安全衛生規則が改正 熱中症予防対策

6月1日から、改正労働安全衛生規則が施行され、「現場において死亡に至らせない（重篤化させない）ための適切な対策として、事業者」に①体制整備②手順作成③関係者への通知一が義務付けられます。

具体的には、「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」が、その旨を報告するための体制整備および関係作業員への周知が求められます。

熱中症のおそれがある労働者を把握した場合、

迅速かつ的確な判断が可能となるよう、①事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先および所在地等②作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等、熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順の作成および関係者への周知一が必要となります。

また、同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれがある作業に従事する者についても、同様の対応を講じることになります。

職場における 熱中症対策の強化について

基本的な考え方



現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者により義務付けられます。

1

「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知。

※報告を受けるだけでなく、職場巡視やパディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めましょう。

2

熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ的確な判断が可能となるよう、

- ① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
- ② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順の作成及び関係 作業員への周知

対象となるのは

「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で
連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業

週休2日評価、5年度のみに変更

県土木部の総合評価

週休2日工事の施工実績対象期間
(特別簡易型 (I)・(II))

評価項目	評価点
土木部及び企業局が発注した完全週休2日制促進工事における施工実績の有無で評価する。評価の対象は令和5年度に竣工した「完全週休2日制促進工事」における履行実績取組証がある場合	1.0点

茨城県土木部は、令和7年度の総合評価方式の改正点として、週休2日制工事の評価対象期間を令和5年度のみに変更。入札年度を除く過去2カ年度の実績を評価していましたが、令和6年度から原則全ての工事が週休2日制の対象となったため、評価対象を令和5年度のみに変更しました。4月1日以降に公告した工事から適用しています。

令和6年度事業報告を了承

県建設業協同組合理事会



茨城県建設業協同組合は5月9日、理事会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催し、令和6年度（第54期）の事業報告や収支決算を了承しました。第54期も共済保険事業、県建設業振興資金事業、地域建設業経営強化融資事業を推進しました。石津健光理事長は「組合員の円滑な事業継続のための事業活動に取り組んでいく」と述べました。パルつくば（つくば市、金子友喜代表）の新規入会も承認されました。

会社の中核として活躍を

入社3～5年フォローアップ研修



本会は4月16日、会員企業の新規入職者約90名を対象とした令和7年度の研修が4月17日から、水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。参加した若手社員は、法改正やキャリア形成、人材育成の方法などを研修。会社の中核として活躍するためのスキルを学びました。プログラムは、第三次担い手3法の内容、会社内での立ち位置、人材育成の方法など。講義後、参加者同士で取り組みなどを発表し合いました。

活躍へ意識高揚を

新規入職者研修



本会の会員企業の新規入職者約90名を対象とした令和7年度の研修が4月17日から、水戸市の茨城県建設技術研修センターで始まりました。本年9月まで6回にわたり講習を行い、今後の活躍へ意識を高めてもらいます。研修会は、会員から定期的な開催を求める声があるため、令和2年度から開催。業界動向、安全管理、品質管理、工程管理、コミュニケーションなどを学んでもらいます。

常陸大宮支部 活動報告

献血に 60人が協力



常陸大宮支部（高野潔支部長）は4月14日、献血活動を支部会館で行いました。献血活動は初めて。人命に関わる献血を社会奉仕の一環として実施しようと声が上がって実現。会員企業30社の従業員約60人が協力しました。

高野支部長は「社会貢献活動として新たに取り組むことになった。業界のイメージアップの一助になれば」と話しています。

潮来支部 活動報告

第2回 献血会を開催



潮来支部（松崎里志支部長）は4月22日、第2回献血実施会を高正U&Iホール（鹿嶋勤労文化会館、鹿嶋市）にて行いました。昨年9月の初回を上回る約160人が協力。支部員をはじめ、茨城県職員にも協力いただきました。崎支部長は「建設業界のマンパワーを社会貢献に生かすことができ、うれしく思う。意識高揚につながっている」と話しています。

2級土木施工一次検定

受験対策で講習会



本会は茨城県土木施工管理技士会との共催で、令和7年2級土木施工管理技術検定の第一次検定に対する受験対策講習会を、4月14日から16日まで水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。参加者は合格を目指し、試験日までの計画の立て方や効率の良い学習方法、労働基準法などの関係法令、施工計画、工程管理、安全管理、土木一般、専門土木、測量などの共通工学を研修しました。

建設業への熱い思い

「私たちの主張」作品を募集

国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会は、建設業への熱い思いを伝えていただくとともに、建設業の役割や重要性への理解と関心を高めてもらうため、建設産業で働く人たちの「私たちの主張」の作文（1600字～2000字以内）を募集します。

募集テーマは建設業にまつわる内容で、「建設産業と地域のつながり」または「伝えたい職人（プロ）のこだわり」。募集は6月30日（金）まで。優秀作には国土交通大臣賞や国土交通省不動産・建設経済局長、優秀賞が贈られます。

お問い合わせは、建設業振興基金の経営基盤整備支援センター「私たちの主張」係まで（電話03-5473-4572）。本会ホームページにも募集要領を掲載しています。

建設投資の見通し 令和7年度は微増予測

建設経済研究所と経済調査研究所は、「建設経済モデルによる建設投資の見通し」（令和7年4月版）を公表した。令和6年度の建設投資は73兆9500億円で前年度比4.0%増加。令和7年度は74兆9300億円で同比1.3%増と予測しています。

令和6年度は、政府分野と民間分野ともに投資は底堅く推移し、建設投資全体としては前年度比で増加。

令和7年度は、前年度より伸び率は縮小するものの、建設投資全体としては引き続き堅調な推移が続き、前年度比で微増と予測しています。

建設投資の推計結果概要 （単位：億円）

年 度	名目値	
	2024 年度	2025 年度
建設投資総計 (対前年度伸び率)	739,500 4.0%	749,300 1.3%

しかし、加害景気の下振れや物価上昇、アメリカの政策動向などの影響に十分留意する必要があります。

令和6年度の県内公共工事 過去10年間で最高額に

東日本建設業保証(株)茨城支店は、前払金保証実績から見た令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）の茨城県内の公共工事（施工場所が県内）の動向をまとめました。件数は6222件で前年同期と比べて3.8%減でしたが、請負金額は4133億6800万円で同4.1%増と増加。

令和6年度の請負金額を、平成27年度から10年間で比較しますと、最も高くなりました。首都圏中央連絡自動車道の4車線化や市の学校建設工事などにより高い水準となりました。

県内の請負金額の推移 （億円）

年度	請負金額
平成27年度	3,711
平成28年度	4,000
平成29年度	3,398
平成30年度	3,312
令和元年度	3,613
令和2年度	3,876
令和3年度	3,683
令和4年度	4,149
令和5年度	3,971
令和6年度	4,133

令和6年度の発注者別前払金保証取扱高

（金額単位：百万円）

区分 発注者	令和6年度		対前年度増減率	
	件数	請負金額	件数	請負金額
国	308	61,726	-14.7%	-8.8%
独立行政法人等	204	78,982	15.9%	17.8%
県	2,567	105,254	-2.3%	-5.4%
市町村	2,905	147,636	-4.7%	15.1%
地方公社	55	7,663	25.0%	36.9%
その他	183	12,105	-14.5%	-29.8%
合 計	6,222	413,368	-3.8%	4.1%

6支部が
定時総会

令和7年度事業計画を決定

本会の水戸支部、高萩支部、鉾田支部、潮来支部、常総支部、境支部の令和7年度の定時総会が4月に順次開催され、令和7年度の実業計画などを決定しました。（4月開催支部）

水戸支部



田口恵一郎 支部長

「さまざまな課題に対し、関係機関との意見交換会や要望活動に加え、広報事業や各種研修会など積極的な事業を展開していく」

【令和7年度事業計画】

- ・ 経営者研究会、講習会、技術研修会
- ・ 「道の日」道路清掃作業
- ・ 献血活動など

潮来支部



松崎里志 支部長

「地域の守り手や基幹産業として建設業の役割は大きい。課題解決に取り組み、新しい時代における業界の在り方を探っていく」

【令和7年度事業計画】

- ・ 鹿行地区建設業安全大会
- ・ 「道の日」道路環境美化活動
- ・ 鹿行農林事務所土地改良部門表彰など

高萩支部



秋山光伯 支部長

「支部員の皆さまと切磋琢磨しながら、一致協力して進んでまいりたい。これからも皆さんのご協力をお願いしたい」

【令和7年度事業計画】

- ・ 工事事務所等との意見交換
- ・ 「道の日」道路清掃活動
- ・ 税務講習会など

常総支部



中川原勇 支部長

「若者や担い手の確保、ICT技術などに対応してまいりたい。道路清掃や献血などにも、ご協力をお願いしたい」

【令和7年度事業計画】

- ・ 常総工事事務所との意見交換
- ・ 表彰式、現場代理人研修会、献血活動
- ・ 豊加美歩道橋花壇整備など

鉾田支部



羽生義隆 支部長

「担い手確保などの課題を解決し、夢と誇りを持って活躍できる業界となるよう尽力していく」

【令和7年度事業計画】

- ・ 「道の日」美化清掃活動
- ・ 安全パトロール
- ・ 技術者研修会など

境支部



新井孝 支部長

「働き方改革やICT施工に柔軟に対応していく。講習会などを実施し、皆さまと共に業界を支えていきたい」

【令和7年度事業計画】

- ・ 経営者研修会、現場代理人研修
- ・ 安全パトロール、雇用改善推進事業
- ・ 道路美化清掃活動、献血活動など

のぼり旗・垂れ幕・横断幕

社名入りで作成いたします

垂れ幕

のぼり旗

各仕様

のぼり旗
サイズ W600mm×H1800mm
材質 ポンジ
仕立て 左チチ・四方縫製

垂れ幕／横断幕
サイズ 垂れ幕 W700mm×H2200mm 横断幕 W2200mm×H700mm
材質 ターボリン(屋外用)
(屋外常設向けの丈夫なビニール系生地)
トロマツト(屋内用)
(屋内や短期の外向けの布製生地)
仕立て 周囲ロープ縫込縫製
ハトム加工8箇所

で囲んであるところに
ロゴ・社名が入ります

横断幕

いばらき「建設フォトコンテスト」

作品を募集

街をつくる「建設」と「人」を、写真で伝える。

いばらき 建設フォトコンテスト 2025

Ibaraki Construction Photo Contest

道路、橋、水道など、
身近な人々の暮らしを支える、
街をつくる「建設」のある風景の
風景「や、全国の「人」と建設のつ
ながりを表した写真」を募集
します。
一般シブからスマートフォン
のカメラまで、撮影した写真をご
応募いただけます。お一人1点、
何回でもご応募いただけます。

応募締切：2025年7月30日(水) 応募方法：WebまたはInstagram

各賞

Web応募作品

- 最優秀賞 (A部門：8部門 各1名) 5万円分の商品券・賞状
- 特選 (A部門：8部門 各4名) 2万円分の商品券・賞状
- 優待賞 (A部門：8部門 各1名) 1万円分の商品券・賞状
- UI22特別賞 (22歳以下対象) (A部門：8部門 各1名) 1万円分の商品券・賞状
- 入選 (A部門：8部門 各10名) 4千円分の商品券・賞状

Instagram応募作品

- 最優秀賞 (A部門：8部門 各1名) 2万円分の商品券・賞状
- 特選 (A部門：8部門 各2名) 5千円分の商品券・賞状

発表・入選作品展示

各部門の上位入賞作品は、いばらき建設フォトコンテスト公式ホームページにて発表・掲載予定です。その他、茨城県内の建設系イベント、公共施設等にて入賞作品を展示予定です。

審査員 板見 浩史 いちめこじ
フォトコンテスターとして多くの写真家やコンテストの審査を執る。公益社団法人日本写真協会イフェス員、カメラのキタムラフェカールチーフ代表理事。

応募に関するお問い合わせ先 一般社団法人 茨城県建設業協会 フォトコンテスト係 TEL.029-221-5126 受付時間 平日 09:00~17:00

いばらき建設フォトコンテスト <https://www.ibarakiconsphoto.com> いばらき建設フォトコンテスト 特選

本会では、「建設業戦略的広報活動」の一環として、社名入り「のぼり旗・垂れ幕・横断幕」を作成いたします。

この広報活動にご理解・ご協力いただき、是非とも、社名入りのオリジナル版をお申し込みいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせは、本会本部までお願いします。

会員の動向

〈新規入会〉

- ▽竜ヶ崎支部
 (株)日田建設工業 代表者 苔米地 直樹
 住 所 〒302-0125 守谷市高野1207-13
 電 話 0297-45-1701
- ▽竜ヶ崎支部
 常陽建設(株) 代表者 飯田 竹世
 住 所 〒300-1512 取手市藤代357-8
 電 話 0297-83-5115
 (代表者変更)
- ▽境支部
 高崎建設(株) 高崎 重之 → 高崎 弘道

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災
補償制度

建設共済保険

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル 0120 - 913 - 931

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー